

山行報告書

作成:2010年1月6日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	乗鞍岳(3025m)	目的[方法]	新春山行[山スキー、つぼ足混合]
期間	2010年1月4~5日(月、火)	形態	テント泊
参加人数	5人		

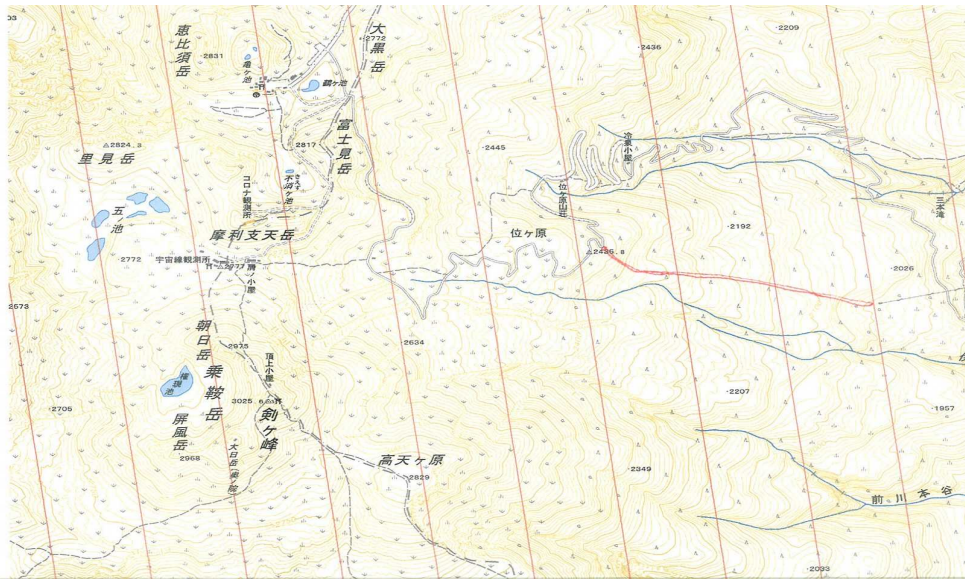
1/4(月) 晴れのち雪

岡崎市民病院(600) ==1:00== 豊田IC(700)==2:30==松本IC(930)==1:00=乗鞍スキー場(1045,1130) -0:55=スキー場山頂駅(1225)--3:55=位ヶ原TS(1630)、就寝(21:00)

1/5(火) 雪

起床(5:00)、位ヶ原TS撤収(900) --2:00=スキー場山頂駅(1100)--1:00=駐車場(1200)、温泉(1330)==1:15==ものくさ亭(1445,1515) ==0:05==松本IC(1520)==1:00==岡崎IC(1815) ==0:10==岡崎市民病院(1825)

概念図:



スキー場リフト券1人400円
40以上ザック1個400円

乗鞍温泉休暇村
日帰り入浴大人500円

日誌: 早朝、岡崎市民病院に集合し、私の共同装備分担での見落としからTさん宅経由で目的地に向けて出発する。予定より少し遅れて乗鞍温泉スキー場に到着、乗鞍岳を目の前に準備をしスキー場リフトを3本乗り継ぎ頂上駅へ。リフト券は40以上のザックは一人分の料金が必要なため3本合計で高い出費をしてしまった。もう少し登山者に対してリーズナブルな料金設定はないのであろうか。

つぼ足組はワカン、スキー組はシールを付けさっそくスタート、人生初の山スキーとなるためドキドキのスタートとなったが深雪の中、予想以上にスムーズに登れるのにうれしくなり調子に乗ってガンガン登るが途中で息が切れる、疲れるのはワカンでもシール歩行でも一緒のようである。途中、急斜面ではなれないせいか何度もすべりバランスを崩す。

つぼ足組を一定区間で待って合流しながら進むが位ヶ原手前で風が強くなってきたこともあり安全にテントを張るにはこのあたりまでとの判断から今日の行程を終了、強風の中、テントを設営するがスムーズにできず苦労する。

前日までの予報では夕方から朝にかけて前線が通過し、冬型となり荒天となるとのことで風と雪が次第にひどくなりテントがバタバタと風で揺れる。そんな荒れた外をよそにテントの中ではNリーダーの指令のもと歌つきの宴が始まる。

食事はお鍋をボン酢でおいしくいただきMさん手作りのぎょうざがこれまたおいしい。宴もそこそこに21:00に眠りにつく。

早朝、予想どおり吹雪、視界も悪く先へ進むのは困難との判断で下山を決めるが吹雪の中のテント撤収はテントが飛ばされそうになったり埋まったテントの掘り出し、ザックへの詰め込みなど風、寒さと戦いながら苦戦する。

準備が整い下山を開始する、前日より50センチは積もったであろうがトレースは消え真っ白である。

スキー組を先頭に位置をお互い確認しながら下り始める、スキーはとにかく早いが深雪に足をとられ、また重いザックでまともに滑れず何度も転倒し、起き上がるのに苦労する、それで結構な体力消費であった。

スキー組はTSから1時間かけて降り、つぼ足組は2時間ほどでスキー場上部に無事下山。

スキー場内の温泉にゆっくり入り、伝説の蕎麦処でおいしいお蕎麦をいただき夕方には無事、岡崎市民病院に帰ることができました。

感想:

初めての3000m級の冬山に悪天候と初めての山スキーで初めてのだらけの体験でした。無念の撤退となりましたが冬山の厳しさを肌で感じ、経験することができ先輩方に感謝いたします。

テントの設営、撤収の速さの重要性や悪天候への対応、判断の難しさ等勉強になりました。